



南部町立南部中学校 学校だより 第19号

千一ム南部中

令和6年3月1日(金)
校長 秋山 欣仁

《3年生を送る会》

2月21日(水) これまで南部中学校の伝統を引き継ぎ、下級生のお手本となって「南部中学校生徒会」を動かしてきた3年生に、感謝の気持ちを伝える『3年生を送る会』が開催されました。新生徒会事務局を中心に実行委員会を



《木内生徒会長あいさつ》



《記念品贈呈》

組織し、1・2年生が全精力をあげて企画・運営をしてきました。見方を変えれば、新生徒会のこれからの活躍を3年生に示し安心してもらうための会でもあったわけです。

会はユーモアあふれる生徒会長のあいさつに始まり、思い出のスライド、お世話になった千野先生や佐野希先生からのメッセージ、そして1・2年生の発表(合唱・応援)、記念品贈呈と続き、最後は3年生からのお礼の言葉と激励の応援で感動的に幕を閉じました。

「総務・贈る言葉部門」「記念品部門」「スライド部門」「招待状部門」「応援部門」「合唱部門」に分かれ、少しでも3年生に感謝の気持ちを伝えようとする1・2年生の一生懸命な姿と、後輩達の成長を感じ南部中生徒会を任せたとという3年生の安心した思いがあちらこちらで見えて、とても好感の持てる素晴らしい会となりました。



《1・2年生から3年生への応援》



《3年生から1・2年生への応援》

《3年生最後の授業参観「道徳」》

2月7日(水) には3年生の最後の授業参観とPTA学年部会が開催されました。この日の授業はA・B合同指導案による「特別の教科 道徳」でした。この日の題材は「自分の誕生日は親への感謝の気持ちを伝える日」という内容の『私が生まれた日』と「出産はお母さんだけでなく、赤ちゃんも一緒に頑張っている」という内容の『あなたはすごい』



力で生まれてきた』でした。

義務教育を終えそれぞれの未来へ羽ばたこうとしている15歳の春は心身ともに不安定な思春期ともいわれています。そのような時期だからこそあえて自分がかけがえのない命として生まれてきたことを再認識し、これからの人生をどのように生きて行くべきかということについて考える授業でした。

授業の最後にはそれぞれの親から大切な子を守る気持ちで綴られた手紙が渡され、思わず涙する生徒もいました。



《 峡南の吹奏楽の祭典「サウスウインドコンサート」 》

2月4日(日)「サウスウインドコンサート」が身延総合文化会館で開催されました。この行事は峡南地域の吹奏楽に取り組んでいる中学生、高校生、社会人が一堂に集まり、演奏を通じて交流を図り、互いの技術向上を図ることを目的に開催されています。本校吹奏楽部員は、



身延中、早川中、身延高校の吹奏楽部員と一緒に「宝島」「ルパン3世のテーマ」「ディズニープリンセスメドレー」の3曲を演奏しました。音楽関係者や出演者の家族など、たくさんの観客があり、生徒たちは久しぶりの大舞台での演奏を楽しんでいました。

《 音楽の授業でギター演奏 》

2・3年生が音楽の授業で学習したギター演奏の成果を披露する発表会を行いました。どちらも3～4人でチームを作り、2年生は「雨の声」という曲を旋律で演奏しました。3年生は2年生での旋律の学習に簡単なコードを交えイタリア民謡の「シチリアーナ」という曲のアンサンブルに挑戦しました。どのチームも緊張しながらも気持ちを合わせ、一生懸命に演奏していました。互いの練習の成果を聞き合い、良かったところをたたえ合う素晴らしい雰囲気にも包まれた時間でした。



《 介護施設より卒業生への贈り物 》

介護施設「たすけあい・きららデイサービス」の方々より、南部中を巣立っていく卒業生の将来を祈念し、利用者さんたちが一生懸命作ったお守りをいただきました。「いつまでも仲間を大切にね!」「どうかお体に気をつけてがんばってくださいね!」とのメッセージが添えられていました。地域の方々の温かい気持ちに感謝しかありません。

